



笹野泰弘

(独) 国立環境研究所 地球環境研究センター センター長

1977年 東北大学大学院理学研究科修士課程(地球物理学専攻)修了 理学博士。

1977年 国立公害研究所(現(独)国立環境研究所)に研究員として入所。その後、衛星観測研究室長、大気圏環境研究領域長などを経て、2006年より現職。この間、内閣府政策統括官(科学技術政策担当)付き参事官(環境・エネルギー担当)として出向(2002年～2004年)。東北大学大学院環境科学研究科客員教授(地球環境変動学講座)を兼務(2003年～2009年)。大気物理学を専門とし、大気環境リモートセンシングなどの研究に従事。

主な編著書:「新しい地球環境学」古今書院、2000 (分担執筆)